



図書館だより

令和7年6月号
宇都宮市立清原中学校

清原の偉人「荒井退造」

1945年（昭和20年）沖縄では3か月にわたり、日本とアメリカ両軍の激しい地上戦があり、約20万人以上の方が命を失いました。当時、沖縄県警察部長として沖縄の人びとの命を救ったのが、清原村出身の荒井退造です。彼は、疎開の責任者となり、一人でも多くの命を救うために力を尽くしました



6月23日は「沖縄慰霊の日」です。沖縄戦の犠牲者の霊をなぐさめ、世界の恒久平和を願う日として沖縄県が定めた日です。沖縄県営平和祈念公園内には戦争で犠牲になった荒井退造はじめ当時の知事や、県職員などを慰霊する「島守の塔」があります。ぜひ郷土の偉人荒井退造について知ってください。



今月の特集

沖縄慰霊の日



図書室の郷土資料の棚に、「荒井退造のコーナー」があります。また、図書室廊下に荒井退造についての紹介を掲示していますので、ぜひ、読んでみてください。



「沖縄の島守 内務官僚かく戦えり」 田村洋三/著 中央公論社 21 夕

過酷な戦時体制下で、沖縄県民保護という困難な仕事に命がけで取り組んだ、荒井退造と沖縄県知事の島田 穀。この二人の生きかたを、家族や関係者などからくわしく取材をして書かれたノンフィクションです。今年は戦後80年です。沖縄戦の真実と、強い信念をもって、困難な状況でもあきらめなかった二人の生き方から命の大切さがわかります。



「教えて！池上彰さん 沖縄から考える戦争と平和（全3巻）」

池上彰/監修 小峰書店 21 イ

かつて沖縄は「琉球王国」という独立した国でした。日本や周辺の国ぐにとの交流のなかで独自の文化を築いてきました。その沖縄の文化や琉球と沖縄の歴史をたどりながら、戦争のない平和な世界を築くにはどうしたらよいかを考えてみましょう。



「対馬丸とボーフィン」 池澤夏樹/文 黒田征太郎/絵

スイッチ・パブリッシング 72 イ

対馬丸は戦争時、沖縄から九州へと疎開するための子どもたちを乗せた船です。しかし、出航した日の夜、アメリカ海軍の潜水艦ボーフィンの魚雷を受けて沈没し、多くの子どもたちが亡くなってしまいました。この2隻の船の会話を通して、戦争のむなしさと恐ろしさを物語った絵本です。



図書室からお知らせ



「蔵書点検」のため閉館します。

期間 6月9日(月)～6月20日(金)

点検中は本の貸出や返却はできません。読書の本など、事前に借りておいてください。借りている本は点検終了後に返却をお願いいたします。終わり次第、開館しますので、ご協力よろしくお願いいたします。



図書委員会からお知らせ



「クイズ図書委員会からの挑戦状！」が始まります。



6月からお昼の放送で「図書館クイズ」を放送します。問題は2～3問、答えは3つの中から選んでもらいます。図書室廊下に問題を掲示し、解答用紙を置きますので、ぜひ参加してください。全問正解者には、「キヨリン」の手作りしおりをプレゼントします。

図書希望調査のご協力ありがとうございました。

各クラスからたくさんの希望をいただきました。今後、^{けんとう}検討して購入したいと思います。なお、品切れや^{ぜっぱん}絶版の本は購入できません。
※リクエストは今後も受け付けます。希望があったら、図書室のリクエスト用紙に記入してください。



2年生(1～4組) 国語の授業で紹介しました。

「足跡」瀧羽麻子/著の単元で、^{ふくせん}伏線のある物語の本の紹介をしました。

「その一言から生まれる物語 もうサイアクだ！」 日本児童文学者協会/編 913 二
誰もが思わず言ってしまう「もうサイアクだ！」をキーワードに6人の作家が描いた短編集です。教科書の「足跡」も載っています。

「たまごを持つように」まはら三桃/著 講談社 913 マ

中学校の弓道部を舞台にした物語。主人公は一生懸命部活に取り組みますが、小柄で不器用なため、なかなか弓道が上達せず自信がもてない二年生です。

「希望のひとつく」キース・カラブレーゼ/著 理論社 933 カ

アメリカの小さな街にある、願いを^{かな}叶えてくれるという伝説の井戸。しずくが^た垂れていくように不思議な縁がつながっていく、希望と愛の物語です。



2年生読書目標「長い物語にも挑戦してみよう」